



# アイデアソン+仙台 ~オープンデータでひも解く仙台都市圏の未来づくり~ 開催報告

## 高校生から社会人の23名がオンライン会議システム を使ってアイデアソンに参加してくれました!

土曜日の午後と日曜日。長いと思ってたけどあっという間の一日半でしたね。

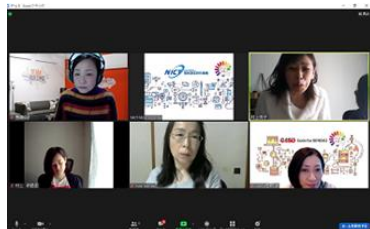


←1週間前からビジネスチャットツールslackを使って軽い交流がスタート。まずは不安と期待の自己紹介から。

初日午後には、4名の講師から濃いお話し（インプットセミナー：オープンデータ/実証/起業）をお聞きした後、当日発表された7つのチームに分かれてディスカッション。

[講師：仙台市デジタル行政推進担当課長 大関守氏、同産業振興課 白川氏、テセラクト代表取締役 小泉氏、信州大学 不破教授]

2日目は朝からチームごとに、自分たちの住む地域の課題を出し合い、解決する課題とテーマを決め解決方法を考え、アイデアを出し合いました。

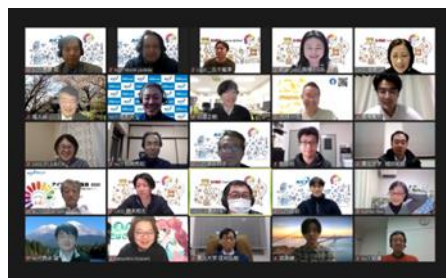


↑左：各チームはZoomのブレイクアウトルーム(BR)でそれぞれアイデアを出し合う。ディスカッションはホワイトボードアプリ；↑中：書き込みながら。発表にも使用。全員BRから戻って、オンライン「あみだくじ」で発表順を決めてグループ発表；↑右



### 一表彰結果一

東北大学賞： iwaya lab  
NICT賞： 親子チーム  
電気通信研究所賞： クレムリン  
防災ICT研究セカ賞： 学生IT支援部  
Code for SENDAI賞： 魔女のスパークリングスープ鍋  
オープンデータ活用奨励賞： あずまや  
地域課題解決奨励賞： Team Sumio



長い審査時間はチームメンバーとBRで雑談で謎の盛り上がり。後日、リアル賞状(名前入り；↑左：とは別)と記念品を全員にお送りしました。表彰式のあと参加者全員で↑右：記念写真を撮ってお開き。みなさんお疲れさまでした。アイデアを実現して行きましょう!

開催日：令和3年3月6日(土)~7日(日)  
開催方式：オンライン  
主催：東北大学、情報通信研究機構(NICT)  
後援：総務省東北総合通信局、宮城県、仙台市、電子情報通信学会東北支部  
参加者：23名：社会人等6名、大学生16名、高校生1名  
審査員：植田理事、塩入所長(東北大学)、茨木理事、鈴木センター長\*(NICT)、小泉氏(MISA/Code for Shiogama)

\*アイデアソン開催時の役職

スケジュール	1日目	2日目
10:00		オープニング (9:30)
12:00		チーム作業
13:00		昼食 (各自)
15:00	開会 (13:30) インプットセミナー	チーム作業
17:00	チームディスカッション 解散 (17:00)	発表/質疑 (13分/チーム) 審査(遅れてごめんなさい) 表彰 閉会 (18:30)